

令和7年度 川崎市自動車運送事業会計予算の概要

川崎市交通局

総括表

(税込み、単位:千円)

			令和7年度 予算額	令和6年度 予算額	増△減	
収益的 収 支	經常 収 支	収 入	営業収益	8,649,264	8,384,787	264,477
			営業外収益	1,493,865	1,543,476	△ 49,611
			計 (a)	10,143,129	9,928,263	214,866
		支 出	営業費用	10,288,900	9,959,432	329,468
			営業外費用	293,231	265,034	28,197
			計 (b)	10,582,131	10,224,466	357,665
	差引 (a) - (b) = A			△ 439,002	△ 296,203	△ 142,799
	經常損益 (税抜き)			△ 547,520	△ 461,028	△ 86,492
	特別 損 益	特別利益 (c)	1,000	1,000	-	
		特別損失 (d)	1,500	1,500	-	
		差引 (c) - (d) = B	△ 500	△ 500	-	
	予備費 C			10,000	10,000	-
再差引 A + B - C			△ 449,502	△ 306,703	△ 142,799	
純損益 (税抜き)			△ 558,020	△ 471,528	△ 86,492	
資本的 収 支	収 入	企業債	2,839,000	1,517,000	1,322,000	
		県交付金	3,680	3,797	△ 117	
		基金繰入金	836,040	-	836,040	
		国庫補助金	-	129,021	△ 129,021	
		一般会計補助金	-	198,025	△ 198,025	
		計 (e)	3,678,720	1,847,843	1,830,877	
	支 出	建設改良費	1,205,968	1,816,160	△ 610,192	
		企業債償還金	2,545,960	332,800	2,213,160	
		投資	649,024	388,366	260,658	
		予備費	10,000	10,000	-	
		計 (f)	4,410,952	2,547,326	1,863,626	
差引 (e) - (f) = D			△ 732,232	△ 699,483	△ 32,749	
当年度資金残額 (△不足)			△ 352,794	△ 499,857	147,063	
当年度末累積資金残額 (△不足)			19,656	△ 91,181	110,837	

令和7年度 主な取組予定

●安全な輸送サービスの確保

○安全な輸送サービスの確保

- ・事故防止に向け、自転車の追い抜き・追い抜かれ体験、電動キックボードの危険性等の確認、高齢者疑似体験等、体験型の運転手実技研修を実施します。
- ・ドライブレコーダーを計画的に更新するとともに、レコーダーの映像を活用した研修や、事故の要因分析等、安全、安心を確保するための取組を実施します。
- ・小学生や高齢者等に向けた安全啓発の取組として、交通安全・バリアフリー教室を実施します。

○お客様サービスの推進

- ・計画的な添乗観察による改善指導を実施します。
- ・車椅子・ベビーカー利用時のルール・マナーを車内広告等を用いて広く周知します。
- ・運転手に対する車椅子等の取扱い講習やサービス向上研修を実施します。

●快適で利用しやすいサービスの提供

○市バスネットワークの形成

- ・効率的な市バスネットワークを形成します。

○バス利用環境の充実・移動空間の快適化

- ・ノンステップバス車両を31両導入します。
- ・バス停留所施設（標識、停留所上屋等）の点検、修繕、清掃を実施します。
- ・二面式停留所標識、バス停留所ベンチを整備します。



●経営基盤の強化

○事業基盤の強化に向けた取組の推進

- ・バス運転手や整備員の人材が不足する中で、必要な人員を確保するため、新規採用を実施します。
- ・大型自動車第2種免許を保有していない若年層の運転手や、整備士資格を有していない整備員の養成に向けた取組を実施します。
- ・バス運転手経験のない方（未経験者枠）や、出産・育児・介護等で退職した運転手・整備員を対象とした採用選考（ジョブ・リターン制度）を実施します。

○営業所の管理委託

- ・上平間営業所及び井田営業所の管理委託を引き続き実施します。

○職員（運転手等）の健康管理の徹底

- ・運転手の心臓疾患・大血管疾患対策検査、脳健診、眼科健診を実施します。
- ・睡眠時無呼吸症候群（SAS）のスクリーニング検査を実施します。

